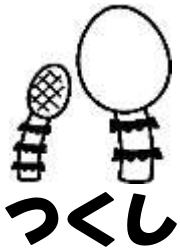




令和5年度2月号 No.1

つくし組の窓から見える畑や木々にメジロなどの野鳥が遊びに来ることがあります。私たちより先に見つけて「あ！あ！」と指をさして教えてくれることもある子どもたち。



つくし

先日、木の枝にみかんを付けてみると、早速鳥たちが食べに来ました。私たちの「見て見て！鳥さん来たよー！」「チュンチュン来たよー！」の声かけに子どもたちも見に来て、「チュンチュン！」「ピッピ！」「かーいー（かわいい）！」「マンマ！」と、それぞれに話してくれます。それに応じて私たちも「チュンチュン来たね」「マンマ食べてるね」「みかん食べてるね」など、また声をかけてやり取りを楽しんでいました。

2月もやり取りを楽しみながら一緒に遊び、指先や身体を十分に動かして過ごしていきたいと思っています。

寒くなったり暖かくなったり、今年は気温の差が激しく戸惑います。冬休みが明け、元気いっぱいの笑顔を見せてくれた子どもたちは、ビニール袋で作った凧を園庭でたくさん走って楽しんだり、保育室では折り紙で作ったコマを回して遊んだり、お正月あそびをたくさん行っていきました。



すみれ

コマは、ほとんどの子がすぐに回せるようになり、たくさん回ると嬉しそうに保育教諭に教えてくれます。胃腸炎が流行り、お休みする子が増えていましたが、登園してくるといつも通りの様子で安心しました。感染症の病気も流行る時期なので、喚起や手洗いなどをし、元気に過ごしていけたら良いと思います。

最近、集団遊びで「しっぽ取り」をして遊ぶことが増えました。子どもたちも先生に付いているしっぽを取ろうと、一生懸命走り、たくさん取れるとニコニコの笑顔で満足げに見せてくれて、とても可愛らしいです。

これからもクラスみんなで遊ぶ楽しさを味わいながら、残り2ヶ月過ごしていきたいと思っています。

鼻にツンとくる寒さに、日中の柔らかい日差しが恋しい季節となりました。早いもので、あと2ヶ月でゆり組さん。身の周りのことを自分ですることがドンと増えます。子どもたちが自信を持って進級できるように、年明けからは汚れもの袋を自分で用意するなど、少しずつ生活に変化が生まれてきました。



たんぽぽ

「ゆり組さんになるぞ！」という期待を胸に、日常の変化に意欲的に取り組む子どもたち。朝は、ホールで行う体操にも参加するようになりました。ゆり組さんとふじ組さんの間に並ぶということで、少し緊張した様子のたんぽぽ組さん。繰り返し参加するうちに、今までは音楽に合わせて腕をピッと伸ばしたり、大きくジャンプしたり、元気いっぱい！な姿が見られるようになってきています。

お散歩では、ふじ組さんとの関わりが増え、手を繋いで歩くことを楽しみにしている姿もあり、子どもたちにとって異年齢での関わりが良い刺激になっているようです。

健康管理に気を付けながら、新年度に向けて子どもたちとたくさんの思い出を作っていきたいと思っています！

おねがい

寒いので、手を袖の中に入れて走っている子や、ズボンの裾をズルズル引きずっている子が目立ちます。事故や怪我に繋がりますので、子どものサイズに合わせてきちんと足首や手が出るように、縫い上げるようにしてください。デザインより、機能性を大事にして下さい。

また、衣類の乾きが良くない状態での登園、ロッカーへの収納は控えてください。

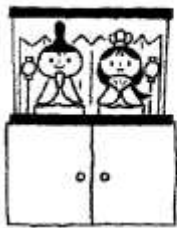
体調不良や、ロッカー内や衣服のカビの原因となります。

今一度、確認をしてから登園をお願いいたします。



今月のうた

- まめまき
- 北風小僧の寒太郎
- コンコンクシャンのうた
- うれしいひなまつり



今月の体操

- 赤鬼と青鬼のタンゴ
- ダンスダンスひなまつり

